

平成30年(2018年)9月9日 (日曜日)

三島市長選 2人が事務所開き  
任期満了に伴う三島市長選(12月9日告示、16日投開票)に向け、出馬を予定する3氏の

うち2人の後援会事務所開きが8日、相次いで開かれた。

### 「3期目はジャンプ」 現職 豊岡氏

3選を目指す現職豊岡武士氏(75)は大宮町から移転した中央町の事務所前で開いた。杉山徹後援会長のあいさつ、来賓祝辞などに続いて決意表明した。豊岡氏は「ホップ、

ステップ、3期目はジャンプで礎を築きたいと出馬を決意した。首長は判断力、決断力、実行力が必要。私はひけを取らない。連携して全体が発展するために取り組み」と訴えた。



決意を表明する豊岡氏  
=三島市中央町

課題、施策を語り、三島駅南口再開発については「不転で実現に取り組み」と話した。杉山後援会長は「市民は日々の生活で8年間の頑張りを知っているだろう。もう1期、やり残したことを実現させてほしい」と呼び掛けた。

### 「幸せの共生社会を」 新人 宮沢氏

県議の新人宮沢正美氏(69)は南本町の事務所前で開いた。碓井宏政後援会長のあいさつ、来賓祝辞などに続いて決意を表明した。宮沢氏は「いよいよスタートを切る。全力

で取り組み結果を出す信念。誰もが元氣、笑顔、幸せの共生社会をつくる」と意欲を示した。課題が山積しているとした上で、争点に三島駅南口再開発を挙げ「市民の声を聴き、



決意を表明する宮沢氏  
=三島市南本町

市の財政にふさわしい事業とする。立ち止まることも必要。南北を結ぶ自由通路を実現させる」と訴えた。碓井後援会長は「選挙戦の体制は万全にする。区切りを付け、新しい市政のために力を貸してほしい」と呼び掛けた。

事務所は南本町14の15、  
〈電055(991)1818〉。